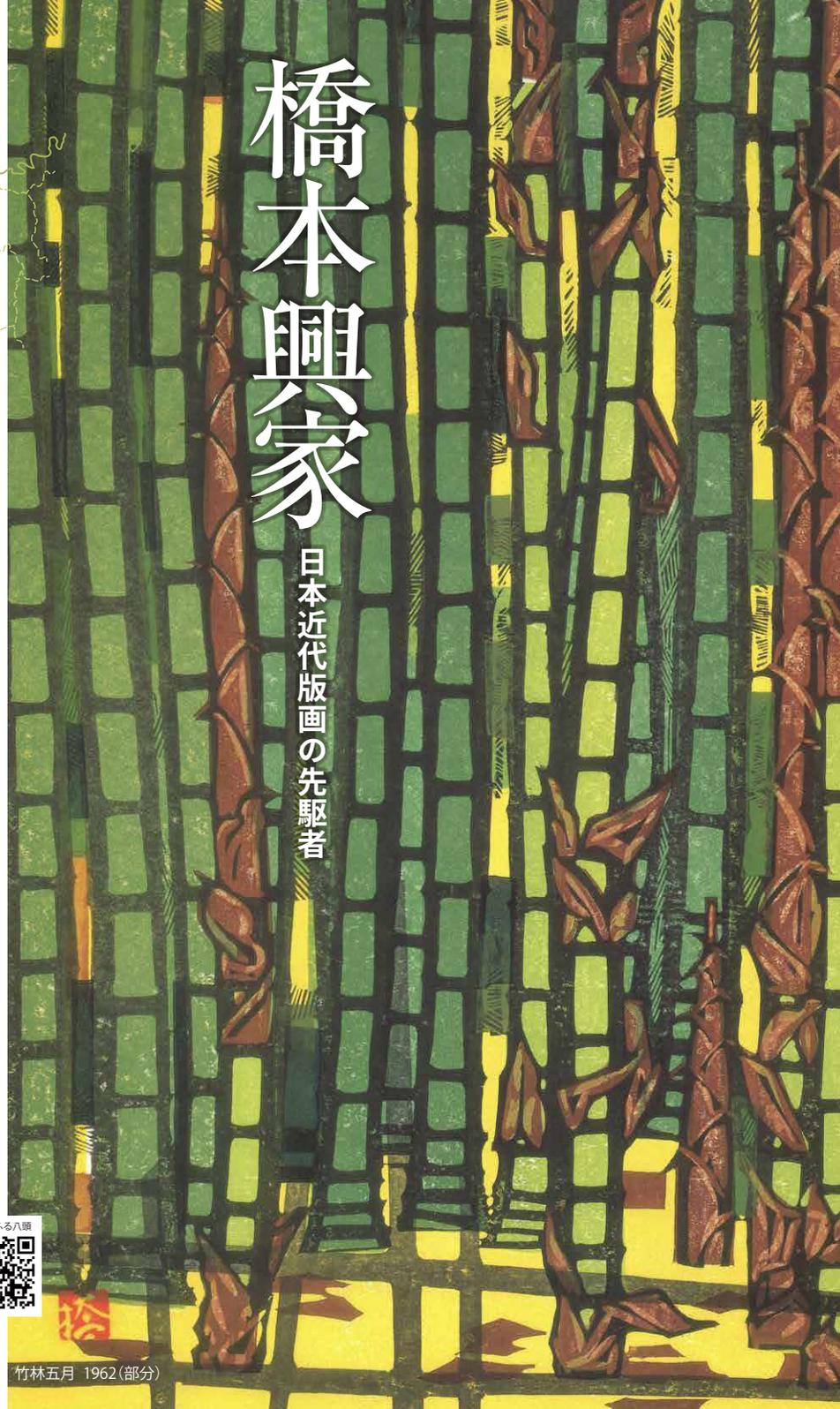


橋本興家

日本近代版画の先駆者



橋本興家記念館

八頭町芸術文化交流プラザ
あーとふる八頭



アクセス 自家用車／大阪から約2時間30分
中国自動車道→佐用JCT→鳥取自動車道
(無料)→河原IC→かわはら八頭フルーツ
ライン→国道29号を姫路、若桜方面へ
自家用車／出雲から約2時間30分
山陰道(一部有料)→鳥取自動車道(無料)
→河原IC→かわはら八頭フルーツライン
→国道29号を姫路、若桜方面へ
列車／大阪から約2時間30分
山陽新幹線→姫路駅→智頭急行スーパー
はくと→郡家駅→タクシー



開館時間 10:00～16:00
開館日 毎週木、金、土、日、祝日
(ただし、12/29-1/3は休館)
入館料 無料
駐車場 普通車 63台、身障者用駐車場 2台
軽自動車専用駐車場 7台
バス専用駐車場あり

橋本興家 記念館

〒680-0521 鳥取県八頭郡八頭町安井宿1346
八頭町芸術文化交流プラザ あーとふる八頭 2階
電話 0858-71-1016 / FAX 0858-84-6006
Eメール: artfulyazu@town.yazu.tottori.jp

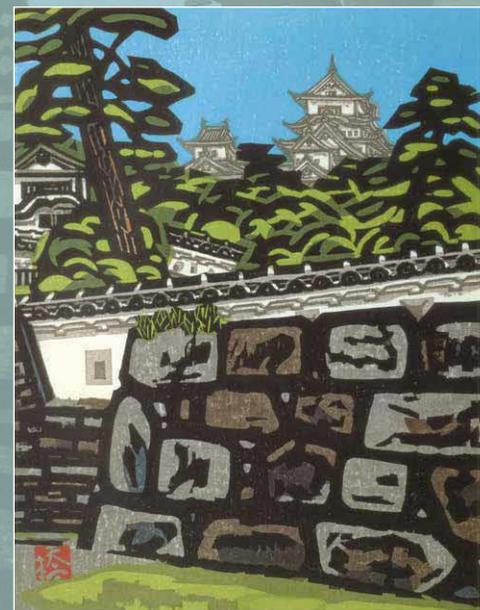
あーとふる八頭



努力とは

一生かけて

体験すること



城 姫路城 1977

橋本興家

版画家／八頭町名誉町民

1899～1993



鳥取城 1947



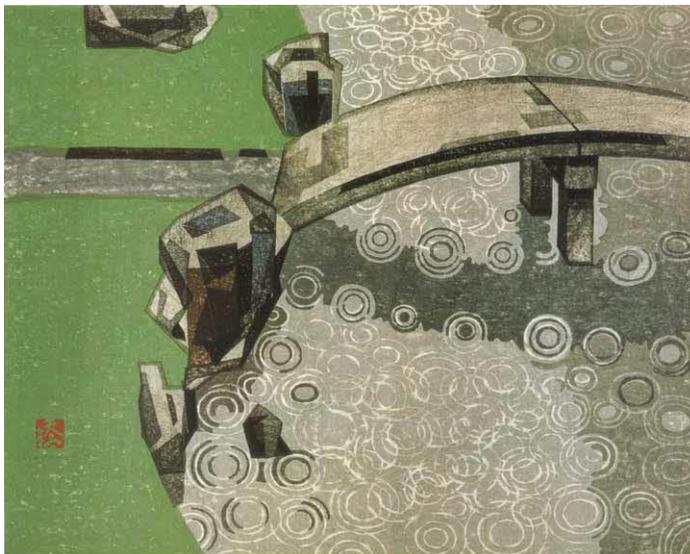
城 名古屋城 1937



唐門(二条城) 1957



ふみ石のある庭 1970



雨 1966



アトリエで(左、1984年、写真・角秋勝治)
勲四等旭日章受章を記念して夫人と(1980年)

橋 本興家は日本近代版画の先駆者として先進的な様式表現を取り入れ、創作版画の新しい領域を確立しました。特にその作品は、代表作「夏景名城」(1941・50号)にみられるように当時としては異例の大きさで、さらに7版、8版の多色刷りで、注目を浴びました。中でも「日本の城」連作は版画史を飾る壮麗なモニュメントとして未踏の版業を残しています。

その作品は国立近代美術館をはじめアメリカのボストン博物館、イタリアのローマ国立近代版画美術館、イギリスの大英博物館など世界各国の主要美術館に収蔵され高い評価を受けています。

- 1899 (明治32) 10月4日、鳥取県八頭郡八頭町(旧船岡村)に生まれる
- 1920 (大正9) 鳥取県師範学校(現鳥取大学)を卒業
山郷小学校・那岐小学校(八頭郡智頭町)教員となる
- 1921 (大正10) 上京して、東京美術学校(現東京芸大)師範科に入学
- 1924 (大正13) 東京美術学校師範科を卒業。富山県女子師範学校ならびに併設の県立高女教諭となる
- 1936 (昭和11) 平塚運一らの版画講習会をきっかけに木版画をはじめ
- 1937 (昭和12) 第12回国展に「大阪城」8号、「名古屋城」8号の2点を出品
第6回日本版画協会展に出品。以後、日本版画協会に所属
- 1938 (昭和13) 第2回文展に「古城ろの門」25号を出品
「城」をテーマとした作品の制作に取り組む
- 1939 (昭和14) 第3回文展に「古城早春」40号を出品
版画の常識を破った大作は美術界の注目を集める
- 1944 (昭和19) 画文集「日本の城」を出版(加藤版画研究所刊)
- 1946 (昭和21) 版画集「古城十景」を出版(加藤版画研究所刊)
- 1947 (昭和22) 第3回日展委員囑託される。国画家会友に推薦される
- 1949 (昭和24) 国画家会員に推薦される
- 1956 (昭和31) 教職を辞する。個展を開催(東京 日本橋三越)
- 1962 (昭和37) 大英博物館現代日本版画展に「長瀬」12号を出品
『日本の名城版画集』を出版(日本城郭協会刊)
- 1971 (昭和46) 紺綬褒章受章
- 1978 (昭和53) 『日本の城』全版画集を出版(講談社)
- 1980 (昭和55) 勲四等旭日章受章
- 1989 (平成元) 橋本興家版画展を開催(鳥取県立博物館)
- 1993 (平成5) 8月18日、永眠(93歳)
- 1994 (平成6) 船岡町名誉町民
- 1999 (平成11) 生誕100年記念事業として、版画刊行と記念展示会を開催
- 2022 (令和4) 11月3日、八頭町芸術文化交流プラザ あーとふる八頭2階に橋本興家記念館開館

展示室隣の記念館には、版画作品も
もとより、スケッチブックや版画制
作に使った画材、愛用品も展示

